

第3回ファシリテーション研修 成果

研修後、参加した LA を対象に感想や研修内容をたずねたアンケート（記述式）を実施した。研修の感想については、以下の通りであった。

<研修の感想について>

- ・「伝える」というキーワードでなかったら、その相手に自分が不満に思ったことを言わずにモヤモヤしたまま終わっていたかもしれないが、今回は相手の事も尊重しながら意見が言えてスッキリした。否定はしない方が良いが、自分の意見も上手く言うべきだと思った。
- ・一つの言葉を伝えるにしても、その言葉が出てくる背景、どのような場面で発せられたか、誰を相手に伝えるかでまったく伝え方を工夫しなければならない、というコミュニケーションの基本をこの研修を通して学ぶことが出来た。
- ・この研修でのグループワークは新学期に同じ授業に入る LA が同じグループになるよう編成されていたため、これから一緒に活動していく LA がどのような人なのかを知ることができた。そのためある程度 LA 内でのチームワークを高めていくことができたと思う。

「伝え方」にも、相手や場面によって、その方法を工夫しなければならないことがある、というコミュニケーションをとる上で大事な基本を学んだようだ。

以下のように、研修後の変化をたずねた質問では、受講生と接する際、意識や対応に変化があったようだ。また、「言葉」についても深く考え、その背景や登場した場面を分析する術も感じとったようである。さらに、今回の研修をグループワークにおきかえて考えるなど、実践の場でつかうことまで考えることができる研修となった。

<研修後の変化について>

- ・多様な考え方があるということ、自分の考え方を中心に考えないことを意識するようになった。また相手の意見を尊重しながら自分の意見も簡潔に述べることも大切と考え、授業でも実践するように心がけた。
- ・LA が受け入れない限り、相手（学生）も受け入れてくれない。LA としての自分の心がけに役に立った。
- ・自分自身うろたえることも少なくなったので、その分、受講生により気を配ることが出来るようになった。それだけ受講生の満足度も高まったのではないだろうか。

自分とは全く違った考え方を持った受講生にも、まずは受け入れ、理解しようとするのが大事だと学んだようである。LA として、どう受講生に接すれば受け入れてもらえるか、満足度が高まるのか、と受講生を中心に考えながら、活動している姿がよみとれた。

LA が授業中にどう振舞うかを考えるとき、LA は相手（受講生）を意識して、行動する大切さを学んだ研修となった。相手（受講生）を意識した振舞いは、LA にとって、大切なスキルの一つである。これを本研修で学び、実践していくことで、受講生も学びやすく、LA の成長にもつながることだろう。様々な研修を通して身につけたスキルを活かし、LA が自信をもって活躍することを期待したい。